

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-7236

年度	令和3年度		
施設名	新潟市児童センター	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設です。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R3.6.30
歳入		正職員		修正日	
歳出		会計年度任用職員	5	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標				
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者45人以上(単位:人)	71	75	34	45	少しずつ来館者が増えているが、引き続き施設や遊び道具の消毒のため閉館時間が短く、また、遊び道具の限定を考慮して目標値を設定する。	子育て支援事業などの各種イベントの充実、丁寧な対応日々、月々、年間の統計		
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率70%以上のイベントが9割(単位:%)	77	76	97	90	定員をほぼ半分にしたため高い参加率が期待できるが、来館者の減少が以前続いていくことを考慮して目標値を設定する。	来館者への積極的な声掛けガイドやホームページ、近隣小学校への働きかけ		
3	市民	新規・継続使用団体の確保	年5団体以上(単位:団体)	22	18	3	5	三密を避ける対策により団体の利用はとて難しいが、引き続き関係機関へのPRを行う。	無理のない範囲での、小学校の教育活動への提案や園外保育へのPR		
4	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」80%以上(単位:%)	80.0	80.0	78.0	80.0	遊び道具や遊び方が限られた状況であるが、利用者の「楽しかった。また来たい。」を目指す。	来館者対象の利用者アンケート実施		
5	市民	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを10回以上(単位:回)	14	13	9	10	訪問があらかじめ決定している場でのPRを主な回数とする。	子育て支援講座、就学時説明会、ガイド配付時や市内子育て支援施設等へ訪問広報活動		
6	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	万代市民会館全体で行う避難訓練に職員・来館者8人以上参加(単位:人)	6	9	11	8	6月の第1回避難訓練には職員3人の参加だったので、プラス親子一組の目標とする。	勤務時間やイベントなどの調整来館者が協力しやすい体制づくりや働きかけ		
7	業務	学生ボランティアの確保	年間30人以上(単位:人)	116	142	22	30	今年度も学生ボランティアの確保は難しいと考えるが、昨年度より微増の数値目標を設定する。	ボランティア登録制度大学のボランティア担当窓口への働きかけ		
8	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業参加人数平均10人以上(単位:人)	23	25	9	10	定員をほぼ半分にし、また、大きなイベントの中止があるため、この目標値を設定する。	連携強化のための相談や話し合い、すみ分けや役割分担の明確化による事業の充実		
9	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会等へ職員の参加(平均1人2回 計10回以上)(単位:回)	13	16	26	10	児童厚生員基礎研修会への2人の参加、また、オンライン研修を奨励することとする。	研修会への積極的な参加		
10											

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>今年度に入っても新型コロナウイルスのため、徐々に増加していますが、従来よりも来館者が少ない状態です。利用者の方々の新型コロナウイルス予防の意識や閉館時間が短くなったり、遊べる道具が少なかったり、イベントの定員が半減したり、大きなイベントが中止になったりするのが要因であると考えます。今年度もしばらくの間このような状況が続くと思われる中で、来館者の満足や確保に可能な限り努めていきます。このような中、自らの資質・指導力の向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、事業の充実に努めます。また、日々の施設遊具の点検や遊びの見守りを確実にを行い、安心安全で健全な遊びの場を子どもたちに提供します。「楽しかった、また来たい。」という思いをもってもらえるよう日々、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をします。</p>	